

予定管理方法書

県営藤井地区土地改良事業(区画整理)によって造成される施設の予定
管理方法等

1 管理者

那珂川沿岸土地改良区
水戸市

2 管理すべき施設の種類

名称	箇所数及び延長	備 考
支線道路	全幅員5.0m 有効幅員4.0m As舗装 L=5,710m 全幅員5.0m 有効幅員4.0m 敷砂利 L=4,490m 全幅員6.0m 有効幅員5.0m 敷砂利 L=1,440m 及び附帯構造物	水戸市
用水機場	上屋 3棟 揚水機 $\phi 100\text{mm} \times 2.2\text{kW} \times 1\text{台} \times 1\text{箇所}$ $\phi 150\text{mm} \times 15\text{kW} \times 1\text{台} \times 1\text{箇所}$ $\phi 65\text{mm} \times 5.5\text{kW} \times 2\text{台} \times 2\text{箇所}$ 用水樋管 ボックスカルバート $1\text{m} \times 1\text{m} \times 1\text{箇所}$ 及び附帯構造物	那珂川沿岸土地改良区
用水路	パイプライン 塩ビ管 $\phi 200\text{mm} \sim \phi 100\text{mm}$ L=13,830m 及び附帯構造物	那珂川沿岸土地改良区
排水路	排水フリューム $400\text{mm} \times 400\text{mm} \sim 800\text{mm} \times 900\text{mm}$ L=4,090m 長尺U字溝KUS $300\text{mm} \times 300\text{mm} \sim 400\text{mm} \times 400\text{mm}$ L=6,935m 可変側溝 $300\text{mm} \times 600\text{mm}$ L=330m ヒューム管 $\phi 800$ L=700m 及び附帯構造物	水戸市

3 貯水, 放流, 取水または排水に関する基本的事項

(1)取水量等

期間 区分	代掻期 4月26日から5月10日	普通期 5月16日から9月30日
最大取水量	0.0654m ³ /s	0.0240m ³ /s
1日 最大取水量	5,651m ³	2,074m ³

(2)取水の方法

本地区の水田部A=10.3haは、一級河川那珂川より那珂川揚水機場にて取水し水那幹線用水路により導水される河川水、及び一級河川西田川より西田川揚水樋管により取水される河川水を主水源とし、藤井用水機場から圧送にて配水する。

畑地部A=40.0haは、一級河川那珂川より那珂川揚水機場にて取水し水那幹線用水路に導水される河川水を取水源とし、坏用水機場及び十万原用水機場から圧送にて配水する。

(3)排水量等

流域面積 (ha)	受益面積 (ha)	排水量 (m³/s)	揚程		排水機		
			全揚程	実揚程	形式	口径	台数
			(m)	(m)		(mm)	(台)
78.2	60.6	1.892	—	—	—	—	—

(4)排水の方法

地区内排水路から一部の流域では地区外排水路を経由して、一級河川藤井川及び西田川へ自然排水する。

4 管理に要する費用の概算及び負担方法

(1)管理に要する費用の概算

施設名及び種別	区分	標準年間 概算額(千円)	耐用年数 (年)	合計 (千円)	備 考
支線道路(敷砂利)		450	15	6,750	管理者:水戸市
支線道路(アスファルト)		450	10	4,500	管理者:水戸市
排水路		675	30	20,250	管理者:水戸市
用水機場		1,832	20	36,640	管理者:那珂川沿岸土地改良区
調整池		128	40	5,120	管理者:那珂川沿岸土地改良区

(2)負担方法

- 支線道路(敷砂利) : 水戸市 100%
- 支線道路(アスファルト) : 水戸市 100%
- 排水路 : 水戸市 100%
- 用水機場 : 那珂川沿岸土地改良区 100%
- 調整池 : 那珂川沿岸土地改良区 100%

5 その他の管理方法に関する基本的事項

特になし